

# みんなの県政

1974 / 4  
No. 63 富山





# ことしの富山県予算

物価、福祉、  
教育にきめこまかく

富山県の昭和四十九年度の予算は、二月定例県議会で審議され、新しい県政の方針がきまりました。総需要の抑制というきびしい情勢の中で、予算の力点は県民生活の安定対策、心身障害児の医療費公費負担、社会教育の振興、中小企業の救済などにおかれ、物価、福祉、教育にきめこまかく配慮され、編成されています。

## ■今月の花

ラツバスイセン〔喇叭水仙〕  
スイセンの一種  
原産はヨーロッパ北部  
花は大形 淡黄色で花心の副冠は濃黄色  
円筒状でややラツバに似る  
観賞用に広く栽培される



## みんなの県政 1974・4・もくじ

ことしの富山県予算	1
ふるさと——空から拝見	10
昭和49年度富山県予算	16
くらしの知恵	17
物価と家計簿	18
トピックス	20

### ●表紙せつめい●

県指定天然記念物  
立山寺参道のとが並木  
上市町眼目にある立山寺参道の両側に、このとが並木が100ほどつづいている。濃緑の枝葉と白っぽい木肌の遠望がよく、趣きをそえている。とがと呼ばれている本種は、植物学上の「もみ」で、本州四国、九州の低山に自生するもので、本県でも氷見、婦負郡とこの立山寺の背後に自生している。



## 予算編成の基本方針

昭和四十八年度の経済は、需給のひっばく基調の下で根強い物価の騰勢が続き、石油問題の発生によりさらに拍車加わりました。

財政金融面からの総需要抑制策の浸透とともに、物価の騰勢はやや鈍化のきざしをみせているものの、なお、国際物価の動向もからみ予断を許さぬものがあります。

昭和四十九年度の経済見とおしについては、石油、電力の供給削減による制約から、物資需給、物価、雇用などの面において県民生活にも少なからず影響の及ぶことが懸念されますが、当面、物価の安定を最優先の課題とし、国とともに総需要抑制の方針を貫く考えです。

さる一月十九日閣議決定された政府経済見とおしでは、経済活動は、年度当初には停滞が避けられないが、年度後半には回復安定に向かうものと見込み、経済

成長率は、前年度比実質二・五割、名目二・九割程度にとどまるものと見込まれています。

本県経済の今後の動向についても、外的な変動要素が多く適確な見とおしは著しく困難な年であり、経済の推移については、樂觀を許されないものと考えています。

今回は、前述の諸情勢をしんしゃくしつつ、さきに策定された「住みよい富山県をつくる総合計画」の具体化を推進し、公約として掲げた諸事業も逐次実施に移してまいらう最善の努力をいたしました。新年度予算は、国の予算、地方財政計画の内容などを勘案しながら、総需要抑制の方針に沿い、公共事業については、前年度当初並みとし、土木・農地などの県単独事業については、前年度当初をやや下回る規模に抑制し公共施設の建設についても必要最少限にとどめました。しかしながら、県民生活安定の施策を

# 住みよい富山県をつくる。

## 歳出予算の概要

以上の基本方針に基づき編成した昭和四十九年度予算は、一般会計一、二四八億四、九七六万円、特別会計二九八億四、九八一万円、総額一、五四六億九、九五七万円となり、対前年度一三・四割の伸びとなっています。

項目別に新しい事業、重点事業などを

中心に新年度におけるとりくみ方をみてみましょう。

## ●県民生活の安定

昨今の物価の動向にかんがみ、その急騰をくいとめ、県民生活の安定を確保することが国、地方公共団体を通じ最優先の政策課題です。

政府においては、総需要抑制に特別の配慮を払うとともに、物価の安定、物資

小売店センター」に二、六〇〇万円を補助。牛乳流通改善対策に九六〇万円補助し、生乳の貯蔵タンク、集送乳合理化促進などをはかります。

## 公設総合食料品小売店センター

高岡市戸出に設けられ、小売業者の近代化と生鮮食糧品の販売とショッピングセンターの形成を通じて消費者の利便をはかり適正な競争の実現、経営の合理化などにより消費者物価の安定をはかるものです。とくに適正な価格形成をはかるため、青果物、食肉、水産物などの生鮮食料品にかぎり新しい販売技術、包装形態、産地直結方式を導入し、あわせて調和ある店舗構成などを図ります。

## 社会福祉の充実

老人、心身障害者など恵まれない人々のための福祉を最重点項目の一つとしてとりあげ積極的に推進していきます。

## ●老人福祉

老人の福祉については、引きつづき医療費の公費負担を中心に、在宅福祉対策の担い手である老人家庭奉仕員を二、三〇人に増員、老人福祉連絡員の手当の増額

最重点とし、社会福祉、教育、中小企業関係予算には、とくにきめの細かい配慮を加え、「住みよい富山県をつくる」「富山県に繁栄をもたらす」「若い世代を育てる」の三大政策を柱に「愛と繁栄の県政」を計画的に推進することにしました。

歳入面においては、とくに税収は、現在の経済情勢において見込みうる最大限のものを計上しましたが、国の大幅な起債削減措置にもなつて歳入の伸びが期待できないため、一般会計予算総額は、一、二四八億円と前年度当初予算に対し、二・九割の伸びとなっています。

今後の財政運営にあたっては、経費の一層の節減にとめるとともに、経済環境の変化に対しては、国の施策とも関連させつつ、弾力的に対処していきます。

また、県税をはじめ自主財源の確保をはかり、国に対しては地方交付税、地方債など地方財源の強化措置を強く要望し、財政の健全な運営につとめていきます。

需給の均衡を確保するため、いわゆる生活二法などの適切な運用をはかることにより、投機的行為の防止、生鮮食糧品の安定供給、流通機構の合理化などを強力に実施することになっています。

本県においても、生活の安定を予算編成の最重要課題としてとりあげ、二億九、九〇〇万円、前年比四五・六割増を計上しています。

老人クラブ助成の強化のほか新たに、ひとりぐらしの老人に「福祉電話」を設置、ねたきり老人のため、電気アンマ器を整備するなどきめ細かい施策をすすめます。また、この七月オープン予定の軽費老人ホーム「九重荘」、老人保養センター「舟戸荘」の増築四月開設の特別養護老人ホーム「晴風荘」、老人福祉センター、老人憩の家など老人関係施設の整備や運営面での充実幅広い施策を講じています。

## 老人福祉電話

六五歳以上のひとりぐらし老人宅に電話を設置して、電話で健康状態をきいたり、電話による相談の受け付けや助言、サービスの提供を行なうものです。

電話の設置に要する費用と通話料（基本料金）は県と市町村で負担します。

ことしは、モデル市町村を指定し、二〇台を設置します。

## ●心身障害者

重度の心身障害児・者を対象に医療費の個人負担分を市町村と折半で公費負担とし、その家族が背負っている経済的負担を軽くします。対象者は県下に二、四〇〇人。この十月から実施します。

また、在宅身障者のため、便所など住

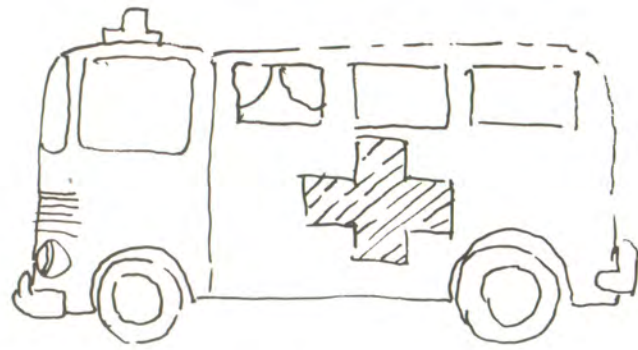


## ●生鮮食料の価格安定

野菜価格安定事業として、前年度より一、六〇〇万円増額し、県単独で対象数量をこれまでの一〇品目、七、五〇〇を一万にするほか、保証価格もキャベツ、秋冬はくさいを引き上げ、県出資割合を二五・二七割から四〇割に引きあげ農家負担を軽くします。

## ●流通機構の整備

食品の流通機構の整備と促進をはかるため高岡市が建設する「公設総合食料品



宅改善補助の新設。身障者家庭奉仕員の増員をはかるとともに、在宅の心身障害児童に対する教育指導を強化する訪問指導員を二〇人増やすなど意を用いています。

盲人の方の盲導犬の購入や日常生活用具の貸与費も新たに増えたものです。

かねてから懸案になっていた身障者の温泉保養所を老人保養センター舟戸荘に併設するほか心身障害児収容施設の保母の増員をはかりました。

身体障害者のための「総合福祉施設」の建設については、基本計画の設計にとりかかり、用地買収をすすめます。

### ●児童福祉・母子福祉対策

児童や婦人の福祉では、三歳児検診の際、いままで行なっていた内科、歯科、精神面の検診に、新たに尿たん白検査を追加して、じん臓疾患の早期発見につとめます。

引き続き乳児専門保育所三カ所、乳児室の増築一〇カ所に補助を行ない、富山市に障害児保育室を新設するなど施設の充実をはかります。

また、「かきつ子の健全育成」として各保育所へ助成をし、母子家庭の児童に中学入学祝品の支給を行ないます。

さらに、民間福祉活動の推進母体である社会福祉協議会の強化をはかるため、社会福祉事業振興基金として新たに三、

〇〇〇万円出資し、五、〇〇〇万円としました。また、民生委員の活動交付金を新たに設けました。

### 重度心身障害者(児)の医療費助成

一歳から五九歳までの一級二級の身体障害者と精神薄弱IQ三三以下の人で、市町村民税均等割以下の世帯を対象に医療費を公費で負担します。このことにより家庭の経済的負担をなくし、よりよい医療がうけられることとなります。

実施の時期は十月からです。対象の認定は、それぞれ身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている人に限られます。

### 保健衛生対策

健康な母子を育てるため妊婦と乳児の健康診査の回数を増やし強化していくとともに成人病予防のため、「がん検診車」を新たに購入し検診体制の充実をはかります。

### ●特定疾患対策

特定疾患対策としては、国の施策とあわせて、全額公費負担対象の疾患を一〇から一八疾患に拡大するとともに、県独自で医療助成を行なっている疾患について

### 生活基盤の整備

生活基盤の整備については、いままでの公害部、自然保護室、土地対策室を改め統合して新たに「環境部」を設け、調和ある土地利用の促進を含めて環境の保全に関する行政を総合的に推進していきます。

### ●土地対策

土地の計画的、効率的な利用は、最も強く要請されており、土地対策の根本ともなる土地利用基本計画の策定は緊急の課題です。

この策定にあたっては、「住みよい富山県をつくる総合計画」の土地利用基本構想を根幹に、航空写真による土地利用の現況をふまえ、さらに新幹線、高速自動車道に関連する土地利用を考慮した総合的かつ計画的なものにしていきます。また、県下全域にわたり、標準地価格を設定し土地対策要綱の適正な運用と相まって乱開発の規制、地価の高騰の抑制につとめます。

### ●公害対策

新年度においては、公害防止計画の策定といま課題になっている総量規制の導入、環境を再評価して地域にあった施設や工場をつくるための環境アセスメント

でも肝炎、悪性関節リウマチなどの一〇疾患を追加してこの施策の充実をはかります。

県民の積極的な健康増進を促進するため県立健康増進センターおよび検診センターの設置を計画し、広域市町村圏が建設する健康増進センターに対し助成を行なうほか、小矢部保健所の改築を行ないます。

さらに、理学療法士、作業療法士を確保するため、修学資金貸与制度を新設します。

### ●国立医大

国立医大の早期開学を推進するため、総合衛生学院の増築と看護学科、助産学科の新増設、中央病院第三外科の設置、関連道路の建設促進、献体運動に対する助成など各段にわたる条件整備をすすめます。

### ●環境衛生対策

環境衛生面では、公衆浴場の衛生設備の改善に対し、新たに助成を行ない経営の安定と設備の近代化を促進します。このほか「環境保全センター」の設置調査費を計上しています。

### 環境アセスメント

道路や鉄道、コンビニートなど開発行為にともなう環境の破壊を未然に防止するため、計画の段階で環境への影響を科学的に事前評価し、開発計画の修正、あるいは再検討など対策をたてるものです。

わが国では、公共事業についてアセスメントの実施を義務づけられています。

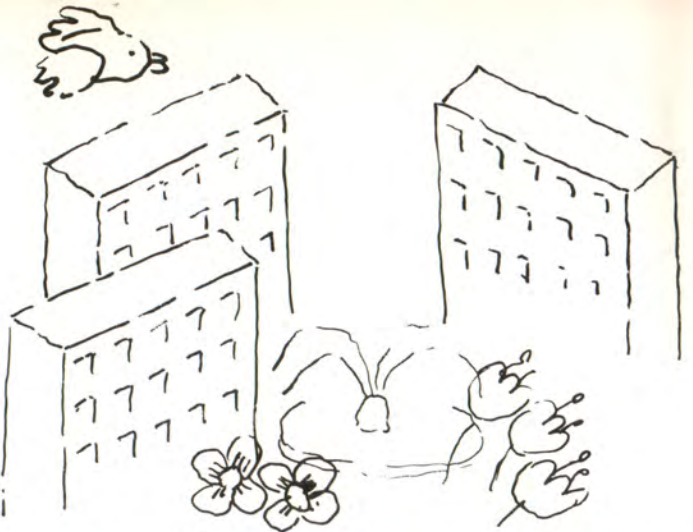
### ●水質保全

水質の保全については、望ましい水域環境の維持をめざし、昭和五十年年度までに県内すべての水域について環境基準のあてはめと、うわ寄せ排水基準の設定ができるよう調査を進め、新たに各種自動測定機器を搭載した「水質測定車」を購入して機動的な監視パトロールをはかります。このことによりBOD(生物化学的酸素要求量)の測定はこれまで五日かかっていたのが数分でできるようになります。

また昨年全国的な社会問題となった水銀等の環境汚染については、なお追跡調査を実施していきます。

産業廃棄物対策では、有害物質を排出する事業所を重点的に監視し、適正処理をはかるよう指導するとともに、中小企業者を対象とした廃棄物の最終処分地の





### 水質測定車

水質測定車はBOD（生物化学的酸素要求量）と相関関係の深いTODの測定器を備えており、動く実験室として数分で水質の測定ができるようになります。冷蔵庫や発電機のほか、水温、PH、送電率、濁度、ORP、DOなどの自動監視装置を備えた新鋭車です。

### ●過疎、山村対策

過疎、山村地域における道路網の整備と住民の足の確保を基本に、地域に適した産業の振興、教育と医療の充実など総合的な施策のもとに、地域住民の生活安定向上と福祉の増進をはかります。

交通対策として幹線道路の整備を進める一方、市町村営のバス運行費に助成を行ない住民の足の確保につとめます。

保健医療対策では、山間へき地住民の保健医療の基礎調査、歯科巡回診療車の購入、また巡回診療科目を網らした「動く総合病院」を開設、利賀、平、山田村



### 自然環境保全対策

石油危機を契機に国民全体が地球上の資源が有限であることを身をもって体験し、物や自然を大切にするという風潮に変ってきたことは望ましい現象です。自然環境保全対策として引き続き自然環境保全地域や環境緑化促進地域などの地域指定に最大の努力を払い自然環境保全基金、水源林造成基金の活用により、自然を守るために必要な土地の公有化と、すでに指定した地域の維持管理に努めます。自然を愛するモラル育成のため、新たに夏山最盛期に立山の室堂、弥陀が原地区へ自然解説員としてナチュラリストを配置。県立自然公園には自然保護指導員の巡視を強化し、訪れる観光客に自然保護の教育を行ないます。

さらに、国が婦中町高塚地区に建設を進めている「渡り鳥一級観測ステーション」を中心に「野鳥の森」に給水施設や観察歩道などを整備する事業に着手します。中部山岳国立公園の立山地区に「自然保護センター」を七、八〇〇万円かけて建設するとともに、これまで自家発電にたよっていた室堂周辺に黒四ダムから電力を導入し環境整備をはかるため、二、三〇〇万円計上しています。

県立自然公園は、さきに指定した朝日有峰、五箇山のほかに白木水無地区を追加指定する計画で地元と協力しながら努

を対象に巡回し無医地区の住民の検診と健康管理カードの作成などを行ないます。その他、県民皆水道を目指して、五〇人未満の山村集落を対象に清浄な飲料水を供給する施設に助成します。

へき地における教育指導の充実として、三箇学年複式学級をこととして完全に解消するほか移動図書館車の更新、辺地保育所の設置を行ないます。

産業の振興として、恵まれた自然環境を利用した自然休養村の整備、農山村自然環境活用事業の推進をはかるほか地域情勢の変化に対応して、県単独で山村振興事業地域の指定を追加して、農林業特別開発事業を進めます。

### ●水質源の有効利用と上下水道

県民の生活水準の向上や石油事情によるエネルギー問題発生にともない、水力発電に対する見直しを中心にエネルギー資源対策研究会を設置し資源開発を積極的に推進していきます。白岩川、利賀川ダムは今年度中に完成。子撫川、角川両ダムも引き続き建設を促進する一方、新たに熊野川ダムの建設に着手します。

上下水道についても、県西部における上水道用水を確保するため、和田川、子撫川、境川を網らする西部上水道事業の建設をすすめます。

小矢部川流域下水道事業は、昨年度か

力します。

### ●県民公園

大規模な県民公園は鋭意工事を進めていますが砺波市頼成山地区の保健休養林については、駐車場、道路改良、給水施設などの整備をすすめる、新年度中に一部開園する予定です。

また太閤山に隣接する都市公園については用地の確保に努力し、用地買収が終了次第、施設整備にとりかかります。

富山市五福から小杉町黒河間の遊歩自転車道約九時は、この四月から供用開始となります。

### 野鳥の森

県民公園の敷地に設けられる野鳥の森は、国の渡り鳥一級観測ステーションを中心に、鳥獣の保護、繁殖の場を確保しながら、生態を観察できるといいます。

この森の婦中町藤が池周辺は、いろんな渡り鳥のコースの中心であり、ここに観察施設、給水給餌台、営巣施設（巣箱など）をつくり、鳥類の保護思想の啓もうをはかります。

### ●花と緑の銀行

花と緑の県づくりの一環として昨年発足した「花と緑の銀行」は着々と普及の

ら建設をすすめています。また、終末処理場の用地の確保について、とくに地元住民の理解と協力を得るようつとめます。また、国で新年度から事業採択された神通川流域下水道事業も終末処理場の用地確保をはかり、早期着工につとめます。

### ●住宅対策

住宅対策については、引き続き太閤山住宅団地の宅地造成、下水道の建設、小学校の増築などを進めるほか、公営住宅一七六戸の建設を計画、住宅供給公社においても積立分譲住宅三〇四戸、一般分譲住宅一〇〇戸の建設を進めるとともに住宅用地の取得造成を推進します。

### 動く総合病院

山村、へき地の無医地区（利賀、平、上平、山田村の四地区）（年二回）内科、外科、小児科、産婦人科、耳鼻科の医師団、一三名が出向いて移動総合病院を開設するものです。住民の健康状態、環境状態などをつかみ、総合保健管理体制と医療確保のシステム化を推進します。

また併行して、世帯別、個人別の保健カードを作成し、将来の医療行政の参考にします。

### 交通網の整備促進

県民の日常生活の基盤として欠かすことのできない道路の整備については、交通需要の実情に即し、四十八年度に認定した県道を含めて整備計画をみなおし、新年度は生活道路を中心として重点的に事業を実施していきます。

さらに富山・高岡広域圏内の総合交通体系を確立するための基礎資料を得るため、新年度から三カ年にわたり、人の行動性向をしらべる大規模なパーソナルリサーチ調査を実施します。

また、冬期交通の確保として引き続きスノーシェッド、消雪工など施設整備を進める一方、新たに冬期間の道路交通の確保を主眼に国、県、市町村が一体となって運営する防雪生活圏整備モデル事業を一カ年で実施することになりました。

## ●交通安全対策

交通事故死の絶無は、県民の悲願です。昨年の県下の交通事故は一昨年に比べ、件数、死者、傷者とも大幅に減少したことは警察当局の努力はもとより、県民総ぐるみの交通事故抑止活動の成果です。

この成果をさらに推進するため、交通安全施設等整備五カ年計画にのっとり、安全施設を大幅に拡充。スクールゾーンを六〇カ所増設、レーダー式速度測定機の全署配置、交通警察官の大幅増員と相まって交通指導取締り体制の一層の強化を期することにしています。

また、このほか初の試みとしてスクラップル交差点を西町に実施し、交差点が一斉に青になり自由に歩行者が横断できるようにします。交通安全思想の普及徹底、いわゆる交通弱者のこともと老人の交通安全対策にとくに力を入れます。

## ●社会教育、芸術文化の向上

県民がその生涯にわたり、新しい文化の創造に参加し、人間としての生きがい

のある生活を実現できるよう学習の機会を提供し、自己啓発を促すことが重要です。

このため、教育委員会の機構を改革し「社会教育部」を設け、県下の市町村を指導育成する派遣社会教育主事制度の発足に六二、〇〇万円、公民館指導員を設置するなど社会教育の充実を期します。

また、社会教育諸団体の指導者の養成と確保につとめ、社会教育振興基金を活用し、PTA、婦人会などの関係団体の育成強化につとめます。

さらに、生涯教育を推進するため、県民の学習希望について実態調査を行ない、今後の施策に利用するほか生涯教育事業の中核として「県民大学校モデル事業」を四〇〇万円かけて実施します。

## ●芸術文化の振興

県民の創作活動を推進するため、歌舞伎、バレエなど芸術の名作鑑賞の機会の増加をはかり、とくに、ことし開設の運びとなった「教育文化会館」を効率的に運営し、より充実した民間の芸術文化活

動を推進します。

文化財の保護については、新たに文化財保護指導員を設置して文化財パトロールの強化をはかり、曳山などの民俗資料、埋蔵文化財、天然記念物の保護に力を注ぐとともに文化財愛護普及活動を強力にすすめて、郷土の文化遺産を県民一体となつて守りたいと考えています。

## ●派遣社会教育主事

社会教育の振興と充実をはかる社会教育主事は市町村で不足しているため、県がふさわしい人材を確保し市町村のもとに適切に派遣できるようにするものです。

社会の変化に即し、また生涯教育の観点から体系化や内容、方法の改善が要求されていることから、地域に応じた充実をはかることになりました。

# 富山県に繁栄をもたらし。

## ●基幹交通網の整備

北陸新幹線の建設については、整備計画が決定し、運輸大臣の工事実施計画の

## ●基幹道路網の整備

北陸自動車の建設については、ことしの秋に砺波インターチェンジから金沢東

インターチェンジまでの二六・五\*の供用を開始します。富山市から以西全線の開通は、昭和五十年に行なわれる予定です。なお富山市から朝日町までの四九・七\*は、このほどインターチェンジの設置場所も決定し、昭和五十二年開通を目標に、用地買収に努力します。

一般国道については、国道八号線の交通渋滞を緩和するため、建設省の直轄事業として進められてきた富山・高岡バイパスが新年度末まで二車線全線開通し、さらに四車線化をすすめます。

今後、交通の混雑が増してくる地域として滑川バイパス、小矢部バイパスの建設、現在建設中の氷見・高岡バイパスの建設促進をはかるとともに、国道一五六号線、三〇四号線の整備を促進します。

## ●農林水産業の振興

本県農業の基本的方向は、優良米の生産基地としての地位を確保できるようにし、さらに需要の伸長が見込まれる畜産物、野菜、果樹などについて自給率の向上を目指して適地適産を進め、県民に新鮮で豊かな食糧を安定的に供給することです。

## ●米

米については、地力増強の推進、優良品種の計画的作付け、農作業の受委託を

広域にかつ組織的に実施し、稲作の機械化に対処する農業機械銀行の導入事業を行なうとともに、引き続き生産基盤の整備、集团的生産組織の育成、農業団地の形成などの施策を実施します。

休耕による米の生産調整は、新年度から廃止されるので、休耕田の稲作復帰をはかり、予約限度数量の確保につとめます。

また、転作の定着化をはかるとともに、引き続き通年施行により、ほ場整備事業の促進をはかります。

また、水稲の新品種として「はつかおり」を奨励品種とし、昭和五十年以降の米の増収基盤の醸成につとめます。

野菜は年々出荷量が増加していますが、旺盛な需要に追いつけないので、価格保証制度を大幅に強化拡充し、農家の生産意欲の向上と生産の振興をはかります。

## ●畜産

需要の増加に対応できるよう自給率の向上をめざして生産振興に努力し、とくに流通飼料の異常な高騰などに対処するための低利融資制度の充実につとめ、また、畜産公害を防止するため、ふん尿の有効利用や土壌還元を促進して、畜産農家経営の改善を推進します。

このほか農山村自然環境活用事業をはじめ、農村の生活環境を整備するため、入善町と福岡町に農村総合整備モデル事

## ●農山村自然環境活用事業

農山村の豊かな自然環境と資源を生かし、地域の特性にあつた観光農業を導入しながら、諸施設を整備して都市に住む人に緑の自然と土に親しむ場を提供、あわせて農家所得の増大をはかるものです。ことしは魚津、八尾を予定し、山菜園、果樹もぎとり園、観光花き園、レジャー農園などのほか、生産物直売所や休憩所を整備します。

## ●水産業

漁港の整備、沿岸漁業と内水面総合振興の対策を積極的に進めますが、とくに新年度には、計画的な漁獲をあげるための栽培漁業センターの建設と水産物の流通加工センターの設置に着手し、魚介類資源の積極的増大と水産物価格の安定につとめます。

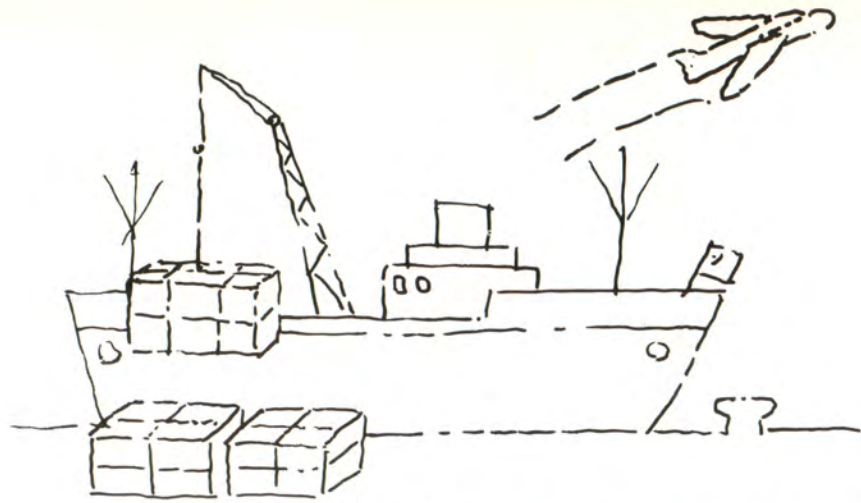


# あまのこ

空から拝見



広いひろい自然を、家族ぐるみ  
で散歩する。そこには、車もなく  
公害もない。  
草花が咲き始め、小鳥が啼びか  
け、木々は色づき始める。  
昔々といふ頃を懐かしむ。田舎には、  
神々の国やの神々しいく陽光が射  
し込む。  
ササノケリ、文島、密蔵、河と社、  
に、染み渡る。ほら、のんびりと、  
あまのこ、無理な国、無理な  
産の、神々の国。



## 栽培漁業センター

沿岸漁業の振興と漁業資源の増大をはかるためにつくられるもので、稚魚をある程度育てて海の適所に放流し漁獲します。

富山湾に適するクルマエビ、ガザミ、アワビ、ヒラメ、カレイ、タイの稚魚を生産、あわせて漁業従事者に獲る漁業から育てる漁業への転換と意識の向上をはかります。

## ●林業

林業は林業労働力の不足と賃金の高騰が依然として造林促進のあい路となっています。

新年度は、森林組合労務班の共済制度をいままでも六五才未満を六五才の労務者にも適用し、さらに充実し、林業労務の広域流動の促進と労務の確保につとめるとともに、造林補助単価を増額して造林意欲の高揚をはかります。

また、公社や森林公団造林を推進する貸付金の増額をはかっています。

## 中小企業、薬業、貿易

中小企業をとりまく経済環境は、金融の引き締めに加えて、石油、電力の供給削減、諸資材の高騰などきわめてきびしいものがあります。

術の振興を通じ公害のない工業、高附加価値型への転換を進めていきます。

## 記帳機械化システム

県内小規模事業者に対する記帳指導業務の合理化と近代化をはかるため、県商工会連合会に電子計算機を設置、各商工会に端末機を配置するものです。この導入により、事務が簡素化され、人手不足の解消、計理の確実な処理、経営改善と今後の経営指導の面でも計数の適確な把握が可能となり効果的な指導ができるようになります。

## ●薬業

本県の伝統産業である薬業は、昨年につづきマレーシア、シンガポールなど東南アジアの市場調査をはじめ、ブラジルの市場調査、沖縄県で「富山のくすり展」を開催するなどして、販路拡張をはかるとともに優良医薬品の生産をするため、品質管理の一層の充実と指導につとめます。

## ●貿易

激動する国際経済情勢に対処し、多角化をはかる観点から中国市場の調査、ハ

いものがあります。

新年度において、小口事業資金をはじめとする各種の県単融資制度を前年度にくらべ一〇億円を増やして経営の安定をはかるほか適時に緊急融資を行なうなど弾力的に対処します。

また、中小企業の近代化、合理化を進めるため、設備近代化資金、高度化資金、設備貸与制度について資金の増額をはかるなど、きめ細かい施策の充実につとめます。

とくに中小企業高度化資金について、その貸付資金を大幅に増額、中小企業の団地化、協業化を進め、中小企業の体質改善を実施します。

## ●工業

工場環境の保全をはかりながら工場立地が適正に行なわれるよう新たに工場立地法にもとづき敷地の中に緑地を義務づけるほか、市町村が行なう工場環境整備事業に引き続き助成を行ないます。

富山新港臨海工業地帯を中心に本県産業に寄与する企業の誘致につとめるほか、県内企業の再配置、伝統工業の振興、技

パロフスク見本市の参加、定期航路開設促進など対岸諸国との交易を促進します。

観光では、高速交通、余暇の増加にもなう観光レクリエーションの増大に対処して、自然保護と調和のとれた観光レクリエーション基地として、立山山ろくの整備、五箇山の開発を行ない、あわせて北陸広域観光事業の推進、誘致宣伝対策を強化し魅力ある観光地づくりにつとめます。

## 労働対策の推進

労働力事情は、若年労働力を中心に依然として不足基調がつづいています。

このため、学卒者の県内就職の促進、県外労働力の導入、職場への定着をはかり、必要労働力の確保につとめます。

# 若い世代を育てる。

## 学校教育の充実

急激に変動する社会に対応するため、学校教育において、心身とも健全で創造力に富む豊かな人間性を育成することが重要です。

教育委員会に「学校教育部」を新たに設置し教育内容と教育環境の充実をはかります。

## 産業基盤の整備

港湾については、伏木富山港湾計画を基本として機能の改良整備を行ない、港湾の環境改善と保安につとめます。

伏木港のしゅんせつについては、富山新港西防波堤の西側に囲い堤を築き、富

また、職業訓練の重点を、学卒者対象の専修訓練から、中高齢者を対象とした能力再開発訓練にきりかえ、密度の高い効率的訓練ができるよう訓練施設の統合整理と機能の強化をはかります。

そのほか、労働福祉団体に対する助成措置の拡充と中小企業などの労働環境の改善をはかるため砺波市勤労青少年ホーム、氷見市の働く婦人の家の建設に補助します。

# 若い世代を育てる。

新年度から普通科の富山南、高岡南高校を新設、中学卒業者の増加に対処し、また普通科における地区別男女別募集率の均衡に配慮します。

一方、定時制高校に修学奨励金貸与制度を創設、雄峰高校南分校の設置など働きながら学ぶ青少年の教育の振興を期します。

特殊教育については、病虚弱養護学校

山新港と伏木港のしゅんせつ土砂を埋立て、面積七〇万平方メートルの用地を造成。運輸省の直轄事業として昭和五十三年度完成を目標としています。この事業の実施により伏木港の機能回復と新港の機能充実に寄与します。

臨海工業用地造成事業については、四〇五万平方メートルの埋立造成を終え、引き続きC、D、姫野地区の整地にあわせて道路、排水路などの付帯工事を進めていきます。また造成完了地区の区画整理事業を早急に始め、企業の早期立地をすすめます。

工業用水道事業は、昨年に引き続き和田川と神通川の工業用水道事業の建設をすすめる、今後の地下水転換の促進など需要の増加に対処できるようすすめます。

を開設し、心身障害児童生徒に対する教育指導を充実します。

幼稚園教育実験事業を実施し、幼児教育の振興にも配慮します。

学校施設については、計画的に老朽、危険校舎の改築をすすめる、消防施設改善など整備拡充につとめます。

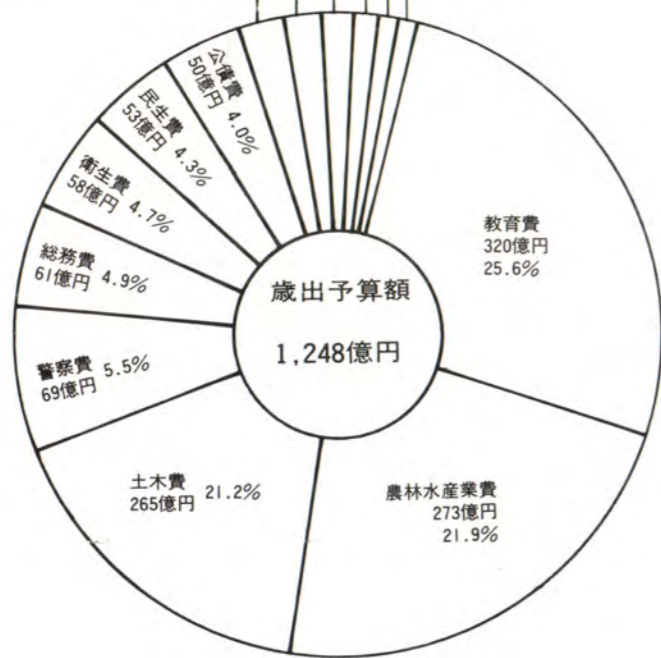
また、教育研修機関の充実、海外研修の機会の提供などにより、教員の資質の



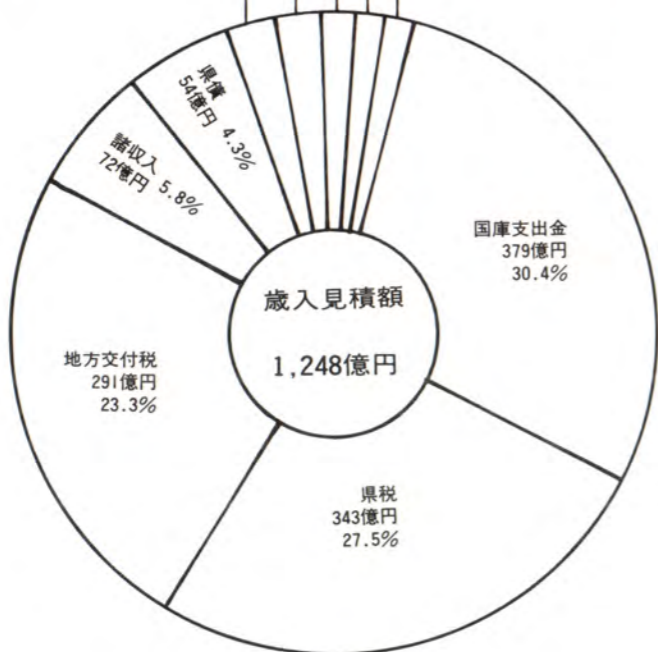
昭和49年度一般会計

(億円以下四捨五入)

災害復旧費 19億円 1.5%	予備費 22億円 1.8%
労働費 10億円 0.8%	諸支払金 9億円 0.8%
商工費 34億円 2.7%	議会費 4億円 0.3%



繰入金 17億円 1.3%	財産収入 5億円 0.4%
地方譲与税 20億円 1.6%	交通安全対策特別交付金 2億円 0.2%
使用料及び手数料 24億円 1.9%	繰越金 2億円 0.2%
分担金及び負担金 37億円 3.0%	寄付金 1億円 0.1%



青少年の健全育成

向上をはかり、本県教育の躍進を期します。私学の振興としては、私学が県民教育の重要な一翼を担うという認識にたち、私学教育水準の向上と父兄負担の軽減をはかるため前年比二三割増の四億五、〇〇〇万円の助成措置の強化をします。さらに、各種学校に対する貸付金制度を新たに設け、教育振興の一助に資することとしています。

未来を開拓し、青少年みずからこれを自覚し、希望に満ちて、その生活を充実し、社会の発達に積極的に寄与できるよう指導援助することは、国、県、市町村をはじめ県民すべての責務です。このため、青少年の活動と創造性が十分に発揮できるよう環境の整備につとめます。第四回目の派遣になる「青年の船」については新年度はブラジル、アルゼンチン、ペルーへ訪問し、国際感覚に加え、団体生活を通じて社会連帯のあり方を体得させるとともに、邦人移住者の努力の成果を見聞させます。さらに昭和五十年には、中華人民共和国の訪問を計画し、中国の現状と中国青年との友好親善を深めたいと考え、折衝を進めていきます。このほか「伸びゆく若人のつどい」の成果をふまえ、新年度も「明日をきま

スポーツ活動の推進

青少年の「つどい」の計画、アジア太平洋国際キャンプ・日独スポーツ少年団交流などを通じ、青少年の自主性と連帯感をつちかうよう配慮したいと考えています。なお、青少年の健全育成施設として福光町刀利地区に建設を進めている「青年の山」は八月ごろに開所します。若人が自然に親しみあすへの創造力を養う場として活用が望まれます。

県民ひとりスポーツの普及振興をはかることは、健康で明るい県民生活を築くために有効な方策です。このため、一般県民に対するスポーツ指導の強化と活動の場の提供が急務と考え、新年度から市町村と協力し、「社会体育指導員」を設置します。また、立山山ろくに山野スポーツランドの建設を準備し、岩瀬スポーツ公園の整備促進をはかり、学校体育施設開放校を増やし、夜間でも使用できるよう屋外照明施設を建設するなど、より多くの人に利用される施設の整備につとめます。スポーツ活動の推進母体である県体育協会の事業活動の拡充強化をはかるため、「スポーツ振興基金」の運用益金の充当、スポーツクラブ育成補助金など積極的な助成を講じます。なお昭和五十一年に開催される「おおよま国体」準備として、冬季国体実行委

山野スポーツランド

立山一帯から大山町を含めた一大観光地一、五〇〇ヘクタールを観光客を対象に整備する立山山ろく観光・レクリエーション地区に、野外活動推進のため設置されるスポーツの総合施設です。野外活動の基地として、野外活動センターの建設計画にあわせて、立山山ろくの雄大な自然を四季通じて楽しむ、青少年の健全育成をはかることのできるキャンプ場、運動広場、家族用小屋などを、極楽坂、栗巣野、千寿が原、芦峠寺につくりします。

員会事務局の設置やリハーサル大会の開催など万全を期すことにします。以上が昭和四十九年度の富山県予算のあらましです。激動する内外情勢の中から、日々新しい政策課題が提起され、新しい行政需要が生まれてきます。このため、県民各層の率直な声を聞き、県議会、市町村と一体となって県政を円滑に機動的に推進していきます。

# 昭和49年度富山県予算の主な事業

## I 住みよい富山県をつくる

○印は新規事業

〔社会福祉・保健衛生の充実〕	137億3,461万円
○老人医療助成	7億2,284
○老人福祉電話設置	77
○家庭奉仕員省力化機器整備補助	29
○身体障害者温泉保養所新設事業助成	350
○軽費老人ホーム九重荘運営費	2,135
○重度心身障害者(児)医療費助成	2,553
○身体障害者実態調査	246
○障害児保育対策事業	179
○社会福祉総合施設建設計画	550
心身障害者扶養保険事業	2,799
在宅訪問指導員設置	1,112
○3歳児健康診査(尿たん白検査追加)	694
保育所整備	2億1,252
○乳児院冷暖房設備設置	150
○民間保育所長時間保育特別措置	125
○小矢部保健所改築	9,074
○公衆浴場施設改善	1,585
○環境保全センター設置調査	130
○国民健康保険強化助成	300
○公的病院特殊診療部門運営補助	2,020
国立富山医大開学推進	1,720
○総合衛生学院増築	1億7,373
〔県民生活安定の推進〕	2億9,882万円
○消費生活センターテレホンサービス	64
○生活安定対策	2,141
○単位価格表示実験店補助	116
○野菜価格安定事業	9,345
○移動生活センター車	1,386
〔生活基盤の整備〕	106億5,449万円
○標準地価調査	401
○土地利用基本計画作成	490
○土地利用状況調査	1,339
○大気汚染移動観測局建設	908
○自動車排出ガス観測局建設	800
○水質測定車購入	2,393
○環境アセスメント導入	535
○家畜ふん尿有効利用促進事業補助	240
○市町村公営バス補助	1,185
○へき地歯科巡回診療車購入	750
○動く総合病院開設	156
○県民皆水道推進モデル事業	357
防雪生活圏整備モデル事業	5,295
公営住宅建設	8億7,330
○熊野川総合開発事業	1億0,000
〔自然環境保全対策の充実〕	14億3,183万円
ナチュラリスト活動事業	90
○植生図作成事業	504
○立山地区環境整備	2,319
○フラワーセンター設置事業	2,913
○河川公園事業	150
県民福祉公園建設補助	6,911
○野鳥の森整備事業	575
県立自然公園施設整備	1,945
〔県土の保全〕	119億9,185万円

○海岸環境整備事業	6,000
○防災センター建設補助	1,250
〔社会教育、芸術文化の向上〕	9億1,241万円
○派遣社会教育主事の設置	6,181
○公民館指導員設置補助	180
生涯教育推進事業	635
〔交通網の整備促進〕	135億4,243万円
○道路交通情勢調査	1,440
○自転車道整備	3,000
○パーソントリップ調査	3,300
〔社会環境の浄化〕	58億7,968万円
II 富山県に繁栄をもたらす	
〔基幹交通網の整備〕	14億5,247万円
北陸自動車道用地取得	9,417
北陸新幹線建設促進	394
国道160号線バイパス用地先行取得	9億1,274
〔農林水産業の振興〕	250億8,615万円
○農山村自然環境活用事業	1,017
○農業機械銀行導入パイロット事業	719
○農作業受託モデル組織育成事業	463
農村総合整備モデル事業	9,425
○緑化木生産資金	2,000
○栽培漁業センター建設	7,500
○漁場環境調査船建造	5,140
地域畜産振興事業	320
〔中小企業、業業、貿易の振興〕	66億3,619万円
○商工会記帳機械化推進	1,800
中小企業経営安定資金	10億5,000
中小企業設備近代化資金	4億5,179
中小企業高度化資金	27億4,942
中小企業設備貸与事業	1億5,000
○技術情報室設置事業	422
○繊維技術指導	1,880
〔労働対策の推進〕	10億0,092万円
○勤労者金融対策	1億5,412
○勤労者いこいの村建設	70
〔産業基盤の整備〕	114億6,966万円
直轄港湾事業費負担	11億5,000
III 若い世代を育てる	
〔学校教育の充実〕	310億7,438万円
3箇複式学級解消、教員の定数化	4,107
県立高校危険校舎改築	3億3,973
県立高校新営増設	2億3,917
○県立高校新設	2億0,712
私立学校振興対策	4億5,592
定時制通信教育修学奨励	540
〔青少年の健全育成〕	5億6,889万円
青年の船派遣事業	6,954
〔スポーツ活動の振興〕	2億4,491万円
○社会体育指導員設置	202
学校体育施設開放促進	1,706
体育団体助成	2,048
○山野スポーツランド建設	510



毎日なにげなく使っているなべにもずいぶんいろいろあります。素材別にみても鉄、アルミニウム、ステンレス、耐熱ガラス、ホーロー、銅と多種多様です。それぞれに長所、短所がありますし、大きさ、素材によっても値段がぐんと違ってきます。

そこで、台所仕事のカナメといわれているなべの選び方や特徴についてみてみましょう。

なべを選ぶポイント

- (1) 作る料理に適したものを
- (2) 家族の人数に合った大きさのものを
- (3) 家族数を基準にして一人分は余分につくれる程度のものがよい
- (4) 材質は値段が少々高くてもなるべくよいものを
- (5) 安定性があり、使うとき固定しやすいもの
- (6) 持ち手は握りやすく、なべの縁に手がふれたり、熱気によるやけどの心配がない形のもの。また持ち手が本体にしっかりついているもの

ふたのつまみは大きめの持ちやすいものを。二つまみ以上の高さがあるとつまみやすい。またふたとつまみがしっかりついていて洗いやすいものを選びたい。

素材による種類と特徴

最近では色とりどりのなべが売場を飾

種類	長所	短所	選び方・扱い方など
アルミニウムなべ	軽い、さびない	酸、アルカリに弱い	なるべく厚手のものを選ぶ。使い始めに米のとぎ汁を入れて火にかけると黒くならない
アルマイト加工なべ	軽い、さびない		アルミニウムの表面に人工的に皮膜をつくったもの。アルミニウムより耐蝕性や耐摩耗性にすぐれている。把手、つまみの使いやすい厚手のもの
鉄なべ	熱がむらなくあたる。空だきにも耐える	さびやすい。重い	少々使わずらいが厚手で重いほど調理にはぐあいがよい。最初錆止めをとるため空炊き、野菜の空炒りかさつまいもを煮るとよい。使用後はうすく油をぬっておく
ステンレスなべ	酸や塩分に強い。さびない	熱伝導が悪い。ムラ焼きができる。焦げつきやすい	熱伝導が悪いので底に銅の張つてあるものを、底の部分を銅メッキしたものはすぐはげてしまうのでダメ。できるだけ銅張りの部分をこすらない
ホーローなべ	薬品や酸、アルカリに強い。見た目がきれいで汚れが落ちやすい	焦げつきやすい。衝撃に弱い。重い	うわ薬がむらなくかかっているもの。空炒しをしないこと、洗うときはあまり強くこすらないこと、衝撃に弱いため落さないように
土なべ	熱容量が大きく保温力がある	急激な温度変化でひび割れしやすい	うわ薬がむらなくかかっているもの。ぬれたまま火にかけないこと、最初に小麦粉をとかした水を煮るとやさしめといつて長もちする
銅なべ	熱伝導がよい。銅のつやがうつくしい	手入れを怠るとすぐ汚れ、また緑青ができる。値段が高い	内側に亜鉛メッキをしたものの方が手入れが簡単
耐熱ガラス製なべ	熱容量が大きい。薬品に強い	割れやすい。焦げつきやすい	電子レンジ・天火に入れるのに最適。ぬれたまま火にかけたり、熱したあとすぐ水につけたりしないこと、クレンザーは使わないほうがよい
ふっ素樹脂加工なべ	焦げつかない。汚れが落ちやすい	強火で調理するとこびりつきやすくなる。日かたつと樹脂がはげる	アルミニウムにフッ素樹脂を加工した厚手のものを選ぶ。金属のフライ返しなどを使用しない

つていますが、なべ選びもけっこうむずかしいものです。厚手のアルミニウムなべのように手入れがよければ一生もつといわれているものもありますし、みかけだけですぐダメになってしまうものもあります。また、すぐに持ち手がぐらついたり、つまみがとれてしまつたり、うな粗悪品もあります。外観の美しさだけにとられて買つたりすると、結局は高いものになりますからよく選んで買うようにしましょう。

# 富山の物価は高いというが……

「富山は物価が高い」という言葉を聞きます。ところが、金沢でも「金沢は物価が高い」という声が聞かれます。果してどうなのでしょう。

このほどとりまとめた昭和四十七年の消費者物価地域指数で見てみましょう。

まず地域差指数について、ちょっとふれておきましょう。

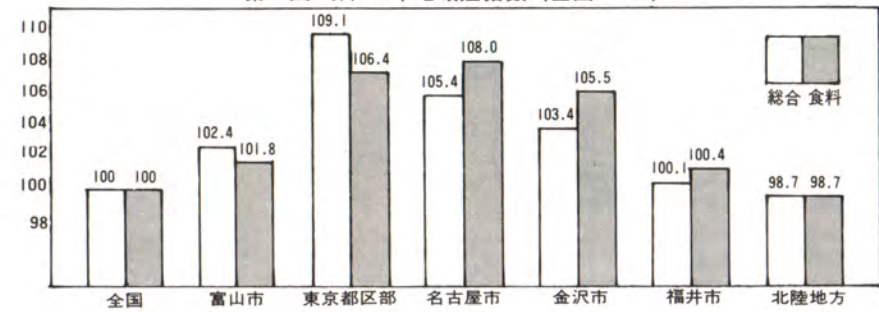
例えば、富山市で生活すると考えて下さい。そして富山市で買った物と同じ物を高岡市で買った物をして、その家計費の支出額を比較したものを「富山市を基準(100)」それが地域差指数です(100)とします。それぞれの所在地での地域差指数を図にしたものです。

これで見ると、富山市は全国平均より物価水準がやや高く、また北陸地方では金沢と福井の間にあることがわかります。県庁所在地の中では、「総合」は高い方から一八位、食料も高い方から一七位で全国的には中位の上といったところですね。

また、第一表では、消費者物価指数と消費者物価地域差指数とを対比してわかりやすいように並べました。

これを見ると、消費者物価指数は、昭和四十五年を基準(100)として、昭和四十七年は東京が一・一・四、富山市が一・一・五となつています。この数字は、四十五年から四十七年までに東京で一・四、富山市で一・一・五、上

第1図 昭和47年地域差指数 (全国=100)

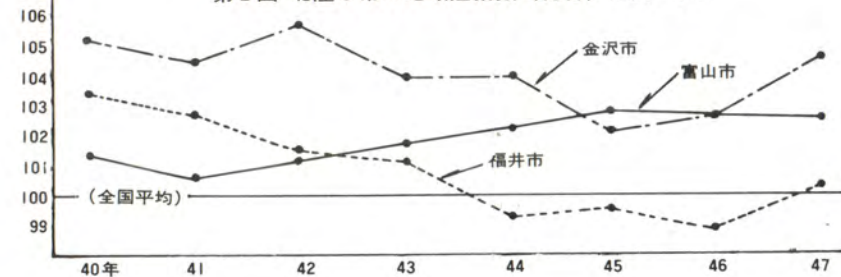


第1表 消費者物価指数と消費者物価地域差指数(総合)

地域	消費者物価指数				消費者物価地域差指数
	45年	46年	47年	48年	
全 国	100	106.1	110.9	123.9	100
東京(区部)	100	106.3	111.4	124.5	109.1
富 山 市	100	106.3	111.5	123.7	102.4
金 沢 市	100	106.3	112.0	123.5	103.4
福 井 市	100	105.7	112.1	125.2	100.1

昇したことを示し、富山市のほうが物価上昇の度合が東京よりもわずかに大きかったことがわかります。これに対し、消費者物価地域差指数をみると、四十七年の物価の地域差は全国平均の物価を基準(100)として、東京は109.1、富山市が102.4となつており、物価の上昇度合とは逆に物価水準は富山市より東京がはるかに高いことがわかります。それでは、北陸三県(県庁所在地)

第2図 北陸3市の地域差指数(総合) 全国=100



市)の物価水準が、昭和四十年からどのように変化しているかを第二図でくらべてください。これを見ると富山市は、昭和四十一年から昭和四十五年まで上昇を続け、一番低い水準から一番高い水準へと高まりましたが、昭和四十六年からは下降基調となつて

います。なお、昭和四十八年の地域差指数は、四十九年末ごろ発表のみです。

新湊市九一・三、魚津市九一・二といずれの市も身のまわり品や衣料が安いので富山市より低い水準となっております。

つぎに、富山県内の地域差指数はどうなっているかを費目別に見ることにしましょう。

『雑費』では、被服と同様富山市が他の三市に比べ最も高い水準となっております。これは、高岡市、新湊市の保健医療・理容衛生そして魚津市の自動車費より低い水準でありながら、教育費、交通通信費等が高いためです。

第二表は、富山市を基準(100)とした場合のもので、  
『総合』では、高岡市が一〇〇・一で最も高く、つづいて新湊市九一・七、魚津市九一・三となり、富山市を上回っていることがわかります。『食料』は、高岡市一〇一・九、新湊市一〇一・五、魚津市九一・五で、高岡市、新湊市は富山市を上回っていることがわかります。これは、富山市に比べ、主食、加工食品、外食などが安かったものの、生鮮魚介、肉類、野菜、飲料などが高値であったためです。

『住居』では、高岡市一〇二・〇、新湊市一〇三・四として魚津市一〇〇・一と、新湊市が最も高く、他の三市に比べ水道料、設備修繕費が高いため、その指数を押し上げています。

『光熱』では、高岡市九九・二、新湊市一〇一・〇、魚津市一〇三・一となり、魚津市が高くなっています。これは木炭などが高値であったためです。

『被服』では、高岡市九三・七

第2表 昭和47年県内4市の費目別地域差指数

	富山市	高岡市	新湊市	魚津市
総合	100.0	100.1	99.7	98.3
食料	100.0	101.9	101.5	99.5
住居	100.0	102.0	103.4	100.1
光熱	100.0	99.2	101.0	103.1
被服	100.0	93.7	91.3	91.2
雑費	100.0	99.7	99.2	98.5

第3表 富山市の品目別価格(2月)

品目	銘柄	単位	価格	1月からみた上昇率(%)	品目	銘柄	単位	価格	1月からみた上昇率(%)
食パン	普通品	1kg	258	0	みそ	並、袋入(1kg入)	1袋	248	6.9
即席ラーメン	即席中華めん袋入り	100g	53	0	砂糖	上白	1kg	230	△7.6
あじ	まあじ丸(長さ約15cm以上)	100g	98	-	レモン	1個約110g、「サンキスト」	1kg	374	△5.3
さば	丸(長さ約25cm~35cm)	100g	22	△24.1	バナナ		1kg	172	32.3
いか	するめいか	100g	86	-	ちり紙	白ちり3号、クレープ付	800枚	237	△27.3
牛肉	中	100g	245	0	せんたく用洗剤	合成洗剤、粒状箱入(2.65kg入)	1箱	588	0
豚肉	中	100g	120	0	ベニヤ板	ラワン材、普通合板、JAS2類1等(182cm×91cm×2.7%)	1枚	585	△6.4
ハム	プレスハム、上	100g	138	0	ワイシャツ(混紡)	カッター、ポリエステル混紡ブロード80番手、白、普通品	1枚	2,100	0
牛乳	加工入(200cc入)月極め	1本	43	0	せんたく代	綿、ワイシャツ(カッター)配達、料金後払い	1枚	95	5.6
鶏卵	1個約60g	1kg	342	5.9	灯油	白灯油、詰替売り、配達	18ℓ	430	△5.1
キャベツ		1kg	147	83.8	プロパンガス	家庭用、10kg、容器代除く	1本	1,288	5.1
ほうれん草		1kg	387	1.8	自動車ガソリン	レギュラーガソリン、現金売り	1ℓ	83	△10.8
大根		1kg	97	32.9	理髪料	大人調髪(洗髪を含む)	1回	1,150	0
大豆	黄白豆	100g	30	15.4	パーマメント代	コールド(セットを含む)	1回	2,500	0
しょう油	濃口、上びん詰(2ℓ入)「キッコーマン印」	1本	440	18.9	パンティスッキング	ナイロン100%、サイズM15~20デニール	1足	200	0

注・生鮮食品は上、中、下旬の平均価格、その他の品目は中旬の価格です。△印は、マイナスを示しています。

# トピックス

## ●県政のうごき——2月1日～2月28日

### 1日●生活安定緊急対策協議会

県と国の出先機関が協力して、物価対策にとり組む「富山県県民生活安定緊急対策協議会」がスタート、初会合をひらいた。

各機関が情報、連絡を密にして、相互指導を強めるほか、悪質な業者に対しては強い姿勢でのぞむことを確認した。



### 1日●郷土の文芸一堂に

明治、大正、昭和の3代にわたる郷土の近代文芸の歩みをみる、富山県文芸展が1日から7日までひらかれた。この展覧会は、置県90周年記念事業として行なわれたもので、郷土の文芸のすべてを一堂に展観された。

### 4日●初の立入調査

県民生活安定緊急対策本部は、ちり紙、トイレ紙、トイレットペーパーの間屋である徳安紙業を生活関連物資などの買い占め売り惜しみ防止緊急措置法に基づき初の立入調査を実施した。

### 10日●22日間死者ゼロ

富山県下の交通事故による死者は昨年からの下降線をたどり、1月19日以来22日間連続死者ゼロの好記録となった。

この好記録は、過去10年間初めてである。

### 13日●はつかおり、準奨励品種に

県は、昨年選抜育成の「はつかおり」を昭和49年度準奨励品種に指定することにした。

### 16日●新年度の予算案を発表

中田知事は、物価、福祉、教育を重点に編成した昭和49年度予算案を発表した。

一般会計1,248億4,976万円、特別会計298億4,981万円、総額1,546億9,957万円対前年度13.4%の伸びとなっている。

### 18日●入賞6年ぶり

第29回国体冬季スキー競技会(猪苗代)で、純ジャンプ教員で最上満選手(立山中)が3位、距離の教員15%で吉越明選手(山田小)が6位に入賞、43年以来6年ぶりに入賞した。

### 18日●富山県職業訓練展

県内の高等技能学校や職業訓練施設で学ぶ生徒の作品を展示即売する職業訓練展・内職展が県民会館1階ホールで開かれ、物価高のおりから人気をあつめた。

### 20日●県の機構改革を発表

中田知事は記者会見で4月から実施する機構改革として、消費生活、広報、交通安全を一本にした「県民生活局」、公害に土地対策、自然保護を加えた「環境部」、企画室の政策担当と秘書室を結びつけた「知事公室」を新設。出納、会計を2課にする「出納事務局」の設置などを発表した。

### 22日●インターチェンジの位置決まる

日本道路公団魚津事務所は、北陸自動車道の県東部ルートに設置するインターチェンジの位置を決定、関係市町に報告した。予定地は、立山、滑川、魚津、黒部、朝日の5カ所。

### 23日●モニター研修会

消費生活モニターの活動を推進しようと研修会が富山市の県民会館でひらかれた。県から生活二法を中心に標準価格制などの説明をしたあと物質の需給状況、価格の動向など消費者からの情報提供をもとめた。



### 25日●新設2高校の名称きまる

県の教育委員会は、4月から開校する2つの新設高校の校名を富山南、高岡南に、また婦中町に開校する病虚弱児童養護学校名をふるさと養護学校とすることを決めた。

### 26日●物資値くずれ気味

県民生活安定緊急対策本部は、県下の灯油、ちり紙、トイレ紙、トイレットペーパーの価格は下落、需給も完全に緩和され、全般的に値くずれ気味であると、実態調査をまとめた。

### 28日●2月定例県議会ひらく

2月定例県議会が招集され、1,248億4,976万円、昭和49年度一般会計予算など56議案と報告2件を提出、中田知事は、「国とともに総需要抑制の方針を貫き、物価問題を最優先課題として難局に立ち向かう」と提案理由を説明した。





第3日曜は **家庭の日** ●今月のテーマ

(滑川市東部小 東城雅代)

## 成長を祝い、希望と勇気をもって進もう。

### テレビ「みんなの県政」あんない

4月からおなじみのテレビ「みんなの県政」は、県民参加の番組として、装い新たにして、次の時間帯に放送しています。

●北日本放送

毎週日曜日、午前9時から30分間  
小学生や同好会のコーラスを紹介しながら  
県の施策をわかりやすく解説します。

●富山テレビ

毎週月曜日から土曜日までの毎日、午後4時45分から5分間  
物価情報、お知らせ、県政一口メモ、歳時記などの情報番組です。

このほか新聞「みんなの県政」を毎月最終土曜日北日本、富山、読売、北陸中日の各新聞に載せています。

ご意見ご希望を県民課広報係へどしどしお寄せください。

☎ (0764) 31-4111 (内線 369)



富山県県民課 〒930 富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

高岡地方県民相談室 〒933 高岡市本丸町12-25 ☎(0766)22-5101

魚津地方県民相談室 〒937 魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室 〒939-13 砺波市幸町1-7 ☎(07633)2-5151